

森と人の文化誌

2021年09月1日(毎月1日)発行 請求記号 1979年02月2日 第三種郵便物認可 8294 0900-0086

# Green Power グリーン・パワー

奄美のジュラシックビーチ 守れと住民訴え

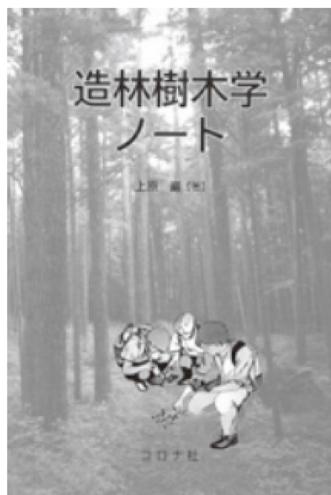
森林文化通信 ● 北海道・然別湖の「水と魚」展

5  
2021



公益財団法人  
森林文化協会

# 「適地適木」の造林に親しむ



造林樹木学ノート

上原 巖 著

コロナ社

定価 2420 円 (税込み)

人間の個性を活かす「適材適所」と同様に、樹木にもその個性を活かす「適地適木」という言葉がある。造林・森づくりでは、各樹木の特性と相性を考えることが基本だ。しかし従来の人工造林では樹木の特性を見ず機械的に、あるいは前例を踏襲する形で林木を植栽することも多い。これからは人工造林だけではなく、自然散布の樹木の「人工更新+天然更新」を合わせる手法が重要になると説く。

本書は、森林科学を学ぶ大学生向けの教科書だが一般の方でも読みやすい。外国語を学ぶ際に単語ノートを増やすように、森林科学のどのテーマにも共通する造林の単語、つまり各樹木の特性を再考し、親しんでもらうのが狙いだ。

日本の代表的な造林樹種であるスギが実は、恐竜の時代から生き残る「未分化の古代樹種」であること、森林を研究する際には数学的な視点が欠かせないことなど、様々なうんちくも楽しめる。  
(編集部)